

は じ め に

本市では、マイカーへの依存が進行しており、交通弱者の増加や自然環境への悪影響、さらには人口や都市機能の郊外拡散による中心市街地の活力低下など、様々な社会問題が起きています。

少子・高齢化の進展に伴い日本の総人口が減少に転じるなど、社会の構造が根本から変わろうとしている中で、より良い環境を創造し、持続的な社会を築いていくためには、自らの生活利便性を追求するだけでなく、将来を見据えた取り組みを着実に進めていく必要があります。

こうしたことから、市民の皆様が将来に不安を感じることなく、安心して生活できるよう、マイカーからの脱却を図り、移動手段の軸足を公共交通へ転換して参りますとともに、まちづくりや地域づくりの観点から、公共交通の果たす役割や位置づけを明確にし、総合的な取り組みを進めていく必要があります。

この計画は、市民アンケートや市内各所で開催した地域勉強会など、様々な機会を設け、市民の皆様から御意見をお伺いしますとともに、幅広い観点から御議論いただいた山口市交通まちづくり委員会からの報告書を踏まえ策定しました。

今後、この計画を本市の交通政策の指針として、市民の皆様をはじめ、交通事業者、関係機関の連携を強化し、みんなが一体となって、「新しい公共交通の形づくり」に取り組んで参ります。



平成19年9月

山口市長 渡辺 純忠

目次

序論	1
1 現状と課題	3
(1)現状	3
(2)課題	11
2 基本方針	15
(1)基本理念	15
(2)基本目標	16
3 取組姿勢	17
4 推進施策	18
(1)公共交通を支える体制づくり	20
(2)利便性の高い公共交通体系の確立	21
(3)安心・安全に外出できる環境づくり	30
(4)にぎわいを創出する交通まちづくり	34
5 施策展開	36
6 推進体制	37
付属資料	38